

# 会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時 (当初の予定日)	令和6年8月28日(水)午後2時
開催場所	保健センター2階講堂
出席者	別紙参照
傍聴の可否	可・一部不可・不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	公開済み
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名(主な発言要旨)	別紙のとおり
提出資料	別紙のとおり
その他	

令和6年度第2回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和6年8月28日(水) 午後2時～午後3時20分

場 所 保健センター 2階 講堂

出席委員 10人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 三 毛 明 人 委員

委 員 横 山 英 吏 子 委員 長 谷 川 郁 子 委員 北 脇 理 恵 委員

委 員 藤 澤 弘 委員 山 田 五 月 委員

欠席委員 6人

委 員 服 部 聡 委員 井 上 正 子 委員 太 田 篤 胤 委員

委 員 高 橋 健 太 郎 委員 大 石 和 孝 委員 大 澤 秀 典 委員

---

事務局職員

健康課長 伊 藤 崇

健康係長 渡 邊 知 子

健康課主任 近 藤 仁 美

---

傍 聴 者 0人

(午後2時 開会)

○事務局 皆さん、こんにちは。時間になりましたので始めたいと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。では改めまして、本日はお暑い中、また、お忙しいところ御出席いただきありがとうございます。

それでは、これより令和6年度第2回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

初めに、委員の出欠に関して事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 本日の委員の方々の出席でございますが、服部委員、井上委員、太田委員、大澤委員から欠席の連絡をいただいております。現時点では、会長を除きまして11人の委員の方の御出席予定となっております。今現在いらっしゃらない方を除いても8人以上となっておりますので、審議会として成立することを御報告いたします。

次に、配付資料の確認をしたいと思います。本日、机上に配付させていただいたものとして、本日の会の次第、それから名簿、前回の会議録、令和6年度第1回食育推進会議の会議録案、閲覧用の小金井市第4次食育推進計画になります。お手元に資料のない方はいらっしゃいますでしょうか。過不足等ございましたら、事務局にお願いいたします。

また、本日、出席している方の中に、次第にはないのですが、発言の予定をされている方がいらっしゃいましたら、次第の中の「その他」のところをお願いいたします。

それから、本日は冷房が入っておりますが、暑いと思われまので、水分等持参された方は、適宜お飲みください。以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

では、議事に入る前に、事前に皆様のところへ送付された前回の議事録案で御自身の発言内容を確認していただきたいと思っております。訂正された方は、訂正どおりになっているかを確認していただきたいと思っております。お時間を取りたいと思っておりますので、御確認のほどよろしくをお願いいたします。

いかがでしょうか。もしこの案でよろしければ、挙手のほうをいただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

牧野委員、何か訂正等ございますでしょうか。大丈夫ですか。

ありがとうございます。

もし追加で何か気がついたことがございましたら、終了までに事務局のほうにお願いいたします。

それでは、意見提案シートについて事務局からお願いいたします。

○事務局 意見提案シートの提出はありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

令和5年度小金井市食育進捗調査結果について、事務局からお願いいたします。

○事務局 まず、資料としてはA3の資料になります。

まずこちらから、調査用紙について説明いたします。

お手元にあります調査用紙の一番左のページは、第4次小金井市食育計画に掲載されているページになります。1ページ目は切れて見えなくて、34ページとなっているんですけども、水色の食育計画

の冊子の34ページを開いていただくと、一番上の1番、食育月間、食育の日の取組という形で載っております。ここのページ数が一番左に、冊子の34ページ、いわゆる1番が食育月間、食育の日の取組と、分かるように振った番号となります。

事業は、この計画書の34ページから42ページまで掲載されています。全部で68事業が掲載されております。今、34ページ、1番というのは、今御覧になったように、その項目ごとの事業番号を入れてあります。

その次です。その次は、事業名と事業の内容が入っておりまして、次に令和4年度進捗状況の内容をそのまま、去年は右のほうにあったものなんですけれども、それが左側のほうにありまして、そして、紙で言うと大体真ん中ぐらいに令和5年度進捗状況調査、去年の実績の数字とその内容について記入されております。

自己評価につきましては、これは1ページ目の上の左です。自己評価A、B、C、D。内容が、「充実」とか「縮小」とか書いてあるんですけれども、これは、担当課で入れてもらっています。

効果があったと思われる食育の視点というのは、計画書の30ページに取組の指標というところがあるんですけれども、この7つの取組につきまして、1番から7番、該当する、そこの事業の内容がそこに視点がありましたということで、視点のあるものについてのみ丸を入れるようになっています。

例えば、1番、食育月間の取組というところでしたら、1番の食育という言葉や意味を知っている、それから4番のバランスの取れた食事というところがこの内容と該当しているということで、そこに丸が入っている形になっています。この調査の結果によって、その課の事業の進み具合を評価するというのがこの状況報告になります。

健康課の事業で市民アンケート。市民アンケートは、この調査用紙の5ページ目の一番上にあります。これは、実施該当年でなかった場合は回答なしにしています。実際にこのアンケートをいつ行うかといいますと、来年度に予定されています。食育計画というのは5年に1回なので、アンケートも5年に1回になっています。なので、アンケートの該当の年はいいいんですけれども、ない年については回答なしとしてあります。

また、各課で既に中止になった事業につきましては、計画書に一応項目があるので、項目は掲載しておりますが、そこには既に中止になっているので、評価とかは入らなくなっております。

以上が調査用紙の項目についてです。

それから、健康課健康係と、子ども家庭部こども家庭センター母子保健係に分かれたことと調査との関係について説明したいと思います。

こども家庭センターは、全ての妊産婦と子育て世帯、子供を対象に、市区町村の母子保健と児童福祉

に関わる相談支援を一体的に実施する機関です。母子保健と児童福祉の両機能を一体化することで、切れ目のない支援を行うことを目的としています。今年4月施行の改正児童福祉法に基づき設置されました。

小金井市では、今はこども家庭センターになっているんですけども、去年までは子ども家庭支援センターとがありまして、そこに今年度健康課の母子保健業務が移って、センター名がこども家庭センターになりました。細かいことですけども、こども家庭センターの「こ」は平仮名になりました。そして、こども家庭センター母子保健係となりました。

子ども支援センターだったときは、子ども支援センターの業務は子ども相談係となっていて、この係もまだそのまま残っています。以前は、未就学までは健康課のほうで、前の子ども支援センターのほうでは学校に入ってから18歳までという形だったんですけども、同じ課になることによって、ゼロ歳から18歳まで切れ目なく支援していくという意味を持っております。

今回の食育進捗状況調査は、昨年度のことなので、全て健康課で行った事業なのですが、この調査に限らず、今年度、4月からの市役所内の調査については全て今年度の事業に振り分けられた課のほうで回答しております。よって、今年度、健康課からこども家庭センター母子保健係に移行した事業については、担当課名はこども家庭センター母子保健係になっています。例えばなんですけど、1ページ目の食育の日のところ、一番右の欄、担当課のところは健康課となっているんですけども、そのときに、一部乳幼児に対する記事の配信みたいなことを行っているんですけど、それはこども家庭センター母子係なので、そこは、実際には去年健康課がやっていたんですけども、名前の前にアスタリスクをつけて、こども家庭センター母子保健係となっています。こういうのがこの先にも、例えば3ページとか7ページ、健康課だったところが、ほぼ、こども家庭センター母子保健係となっているんですけども、一応このように、今年度からこの事業についてはこちらの係でやるので、回答もこちらでやりますということでこのように表記させていただきました。来年からは、ここの最初についているアスタリスクは取らせていただいて、そのように記入しようと思っています。健康課から移った事業はこれですということが分かるようになっています。

私の説明が悪かったんですけど、お分かりいただけでしょうか。こんな形で、事業が移ったもの、そうでないものというのが分かるようになっております。

健康課健康係と、子ども家庭部こども家庭センター母子保健係と、私が兼務なので、回答としてはどちらも私がしているんですけども、決裁については、健康課はこちらにいる健康課長、それから、こども家庭センターのほうはそちらの課長が、私の回答したものに対して確認をしているという形になっております。

次に、内容についてですけれども、既に皆さんに送らせていただいたので、もしかしたら御覧になった方もいるかと思いますが、また何か途中で御意見だったり、参加したけどこうだったみたいなのがあれば、挙手で発言していただいて結構です。

回答について、かいつまんで説明いたします。

1番の食育月間食育の日の取組につきましてです。こちらは東京都や国から毎年調査が来ていて、健康課が小金井市の他課の分も取りまとめて報告をしている取組です。学務課は小金井の市立小中学校の食育について報告し、また、保育課は小金井市立の保育園、全部で5園なんですけれども、それについて報告しています。どちらも給食を実施しているので、給食を中心とした食育となっております。

健康課は、食育月間では小金井市民歯と口の健康のほうで、食育関係のチラシの配布、それから、保健センター内で、栄養相談室の廊下の壁に展示をしました。

それから、こちらは子ども家庭センターになるんですけれども、毎月食育の日、19日には乳幼児食育メールの配信を行っています。この配信につきましては、登録された方のみ配信されるようになっています。

それから、小金井らしい食生活の推進、3ページ目の真ん中に、乳幼児から高齢者までを対象にした講座の開催を通じて、野菜を中心としたバランスのよい食生活を推進するという項目があるんですけれども、これについては、健康課の健康教室、健康教室というのは、別に栄養だけではなくて、例えばお医者さんの話であったり、それから運動療法士さんの話であったり、保健師さん、歯科衛生士さんの口の衛生について等の話もある中に、その1つとして栄養のお話をするという形で健康教室に入っております。

それからもう1つは、子ども家庭センター母子保健係のほうの離乳食教室です。令和5年の5月にコロナが感染症5類になったことに伴って、6月から試食や実習を再開しています。5月までは、実際には作るんですけども、食べないで見ていただく。もったいないですねとかも言われたんですけども、何かあったら大変なので。でも、やっぱり作らないと実際には離乳食がどういうものかというのが分かってもらえないので、実際には食べなくても、スプーンでかき混ぜた感覚だったり、触ったりしていただいて、どういうものか分かってほしいので、一応、コロナの間も、初めの頃は全く作っていなかったんですけども、途中から全部作ってお見せするよという形にしていたんですが、5類になったことで試食も全部というようになりました。

この試食のことなんですけれども、離乳食の試食につきましては、もちろん、食べるものなので衛生的には作っているんですけども、万が一、お子様が初めて食べるもので何かあったら困るので、離乳食試食につきましては、全部、保護者様が対象になっているというふうに御理解ください。中には、間

違えて食べさせそうになってしまう方もいらっしゃるんですけども、一応全部、離乳食の試食につきましては、保護者対象ということでやっております。

それから、3番の農業祭での啓発活動については、健康課は第4次食育計画と食育ホームページのチラシ、てくてくマップを配布いたしました。この辺までで何か御意見のある方とか、何かありますか。

○山岸会長 いかがでしょうか。何か御意見、御質問等、ございますでしょうか。

○事務局 特にないようでしたら、説明を再開します。

次は、4ページです。4ページは、4から9、全てごみ対策課になります。4は資源循環教室の推進。5は、夏休み生ごみ投入リサイクル事業、学校にあるごみ処理機への家庭の生ゴミの投入です。

それから食品リサイクル事業、フードドライブ、食品ロス削減推進協力店・事業所認定制度、それから、食品ロス削減月間への取組という形になっております。

何かここまでで、いろいろやってみただけどこうだったとか、何か御意見がある方はいらっしゃいますか。

特にないようでしたら、説明を続けます。

次、5ページなんですけれども、一番上はさっき説明しましたように、食育の市民アンケートにつきましては、令和4年、5年は対象ではない年でしたので、実施はなしになっています。

2、3は、食育ホームページになります。メンバーの方は、8人です。いろんな記事を載せていただいたりしているんですけども、食育ホームページの広報として、昨年同様、成人式での配付、公民館窓口、経済課窓口、JA、それから観光まちおこし協会を通じて駅への設置等を行いました。

ということで、今のホームページ関係で何かありますか。

○北脇委員 北脇です。

食育ホームページ、上から2段目のところですが、令和4年のところの文章がおかしくなっている…、改行の関係ですね。

○事務局 ごめんなさい、間が空いてしまったんですね。

○北脇委員 すみません。いいんです、ごめんなさい。失礼いたしました。気にしないでください。改行がおかしいのはほかにもあったので、たまたまだと思うので。すみません。

○事務局 特にないようでしたら、次に進めます。

6ページになります。こちらは、健康課、経済課、それからごみ対策課の表になります。食育ホームページの活用、食育関連人材、親子農業体験、その次の学童収穫体験、地場野菜等販売の推進、料理講習会、新たな特産物の普及促進、生産者との交流促進、野菜収穫体験、保育園出張講座になります。

健康課のところだと食育クイズの食育ホームページの活用ということで、特に皆さんにも手料理の仕

方で、今、珍しい野菜とかも農協さんで出していて、それをどう食べたらいいかわからないというものもあるので、それを委員の皆さんが献立にして出して、こういうふうに食べるといいですみたいな形でホームページに上げてくださっています。

食育関連の人材の活用して、経済課さんのほうが農業カレンダーの記事について、食育ホームページの委員さんの協力をいただきたいということで、献立の写真だったりを説明、載せてほしい、協力を仰ぎたいということで、毎年、依頼が来ているようです。

地場野菜のことについてなんですが、健康課としては、前は庭先販売マップを経済課のほうで作ったときには、ちょうどうちの推進計画ができた年で、うちの推進計画と一緒に配付しますねということで、配付が続いてきたんですけれども、これはその年で終わりにになりました。

うちが何をするかといいましたら、夏休みに学務課との合同事業で栄養講習会が開かれたんですけれども、そのときに長谷川さんをはじめとして学校栄養士の方々にその中で地場野菜の話をしていただきました。うちが関係したところはそんなところですよ。

ほかに何か、ここにありますか。体験されたり参加されたりした方でご意見ある方など。

○山岸会長 お時間、まとめてでもよろしいので。

○事務局 委員の方も関係されている方がお見えじゃないので、いらっしゃったら何かあったかもしれないですけど。では、次、7ページに移りたいと思います。

こちら、1番から7番を除いて、全部こども家庭センター母子保健係になります。一番下のところは、前からこども家庭センターこども相談係のほうをやっているエンジェル教室といいまして、これは、1階にあるゆりかごさんというところ、未就学のお子さんと保護者の方が来て遊べる場所があるんですけれども、そのゆりかごさんが行っている教室です。ここでは、離乳食教室等もありますが、その中で参加された人たちがお友達になるみたいな、交流会の意味も兼ねての会だそうです。うちのほうに来ている管理栄養士が関わっているので、内容的にはお話は同じかもしれないんですけど、うちのほうは、試食とデモンストレーションを見るような形なんですけれども、こちらではすり潰しの体験などを取り入れて、両方参加してもいいようにしているそうです。

先に一番下を説明してしまったんですけども、一番上のマタニティクッキングは、妊婦さんに特化した講習会で、去年も説明したかもしれないんですけども、平日と土曜日をやって、前は平日でも結構来てくださったんですけども、逆に、来なくなったからといってすべて土曜日に変更したんですが、今、やっぱり勤めていて忙しいので、結局お休みの日というのが限られてくることもあってか、人が集まらなくなってしまったんです。せっかく、数少なく来ていただいたところ、当日具合が悪くて来れないので中止になったりもありました。一応、両親学級が年に16回あるんですけども、その中で

は、栄養の話とかは必ず入るようにしてしまっていて、当日も、参加者が大体、御夫婦22組ぐらいいらっしゃるんですね。その中で、大体半々に分かれて、同じ授業を2回するような形にしているんですけども、そこで栄養の話をしているので、あまりにも参加者が少なくなったマタニティクッキングは中止にしました。本来でしたら、計画書にあるので5年保っていかなくちゃいけないかなとは思ったんですけども、あまりにも、コロナがあったことが大きかったんですけども、人が集まらないということで中止にさせていただきました。この分の予算をそのまま完了食、1歳以降のお子さんについての離乳食教室、ほぼ半分ぐらいが質疑応答なんですけれども、そちらのほうに全部替えさせていただきました。

それから、その次の両親学級です。こちらは平日だけでなく土曜日も行っています。大体1日、1日というのは約半日なんですけれども、それで一通り、助産師さんだったり保健師さん、歯科衛生士、管理栄養士からの話という形で、あとは、一番人気があるのは沐浴なんですけれども、そういう形のプログラムを組んで、そこでコロナが収まったので、結構な人数、参加されるようになりました。

それから、離乳食教室。1回食、2回食、3回食、完了食という形で行っております。一応、電話での問合せも結構多かったので完了食も入れたんですけども、実際には1歳過ぎると保育園とかに行かれてしまう方も多いため、人数、そんなに多くはならなかったんですが、自分が質問しようと思ってたくさんスマホなんかでメモして持ってきてくださる方もあって、それなりにきていただいています。

ただ、ここに1回食、あるんですけども、実は今年度から乳児検診のほうで、実際には試食も含めての説明というのをするようにはなったので、1回食、令和6年度、今年度は行ってないです。

それから、次の乳幼児メールは、先ほど説明しましたとおり、こちらは「こがねいっこ健康ナビ」というのがありまして、そこに登録することで、いつ、こういう予防接種を受けるとか、そういうプログラムだったり、いろんな情報を手に入れることができるんですけども、その中から、さらに希望する方だけ登録をしていただいて、食育に関してのメールを配信するというものです。これは、0～1歳、2～3歳、4～5歳と分かれて毎月1回配信をしております。

それから、こどもクッキング。こちらは年4回行っております。2～3歳と3～5歳の枠で募集しています。こちらの目的としては、自分で体験することで食べる意欲をうまく引き出していくというようなことが目的になっております。ただ、やっぱり感染症がはやる時期だと、急なお休みとかもあって集まらないところもあるんですけども、集まるときはキャンセル待ちとかが出るような状況になっています。結構楽しんでやってくださるんですけども、ただ、やっぱりコロナがあったので、食べるものに対して、例えばみんなで1つの鍋を作るみたいなことは去年はやっていなくて、それぞれの保護者とお子さん、2人で完結するような形で行いました。例えば小さいピザだったり、そういうものを作っていました。

それから、その次の乳幼児保健相談（のびのび広場相談）とあるんですけども、こちらにつきましては、コロナの間は予約制だったんですが、去年、コロナが5類になってからは全部予約なしで、最初に予定されていた場所と時間内に来れば相談ができる。栄養相談、歯科相談、保健相談、母乳相談だったりということができるのと、あとは、もれなく身長・体重の検診がついてくるという形になっております。多少、おもちゃも持っていったりしているので、そこで保護者の方の交流なんかもできるようになっているようです。

コロナの間、外に出るということが、なかなか令和4年までは難しいかなと思ったんですが、去年はコロナも空けて、大分こちらの相談が増えました。

それから、栄養個別相談です。こちらは前もってこの日と決まっているので、そこに来ていただくような形だったんですけども、そうなりますと、小さいお子さんは前もって予約するのが非常に難しいところがあります。予定どおり来られなかったりして、あとは、お電話だったり、のびのび広場相談自体が結構できるようになったので、そういうところで実際に対面でお話ししていくということが、保護者の方にとっても、そのほうがきっと、電話で話すよりもいいのかなと思います。

そのため、のびのび相談の回数が回復したことで、個別相談のほうは減ったかなといったところです。

以上が7ページの説明になります。何かありますか。

○北脇委員 両親学級ではなく、母親だけが行くコミュニティーづくりとか勉強とか、そういう妊婦学級みたいなものというのは、小金井市にはないんですね。

○事務局 一応、参加するときに、別に、お母さんだけ、お父さんだけでも全然構わないんですけども、私もたまに電話を取ることがあるんですが、ほとんどお二人で見えることが多いです。

○北脇委員 なぜ質問したかということ、まず、両親学級となっていると、両親で申し込まなきゃいけないという印象を与えてしまうので、今の時代、両親とは限らないので、そういった方への配慮というのもちょっとどうなのかなと思ったのと、ただ、両親学級ってやると、逆に今度はパパが参加しやすくなるので、それも意味があるので、どちらがいいとは一概に言えないんですが、その表記の仕方、それが気になりました。

それから、こちらのほう、半日かけて行う講座ということだったんですが、私が第一子を産んだとき、練馬区のほうに住んでいたんですが、もう16年前なのであまり記憶が定かではないんですが、6回から10回通うような講座があったんですね。その中に、今日は栄養、今日は沐浴とか、いろんなことで市が妊婦さんに教えたエッセンスをぎゅっと詰めてたんです。まだおなかにはいますけど、子供が出てきてないので、母親のほうにも余裕があって、物すごく皆さん勉強する気になって、いろんなことを吸収していて、1回の集まりで2時間ぐらいなので、10時から12時で、12時から時間ある人、今

からランチして帰りましょうという感じで自然にコミュニティーが発生して、お友達になって、もう妊婦の友達が何人もできるみたいな状態のことがあったんですね。同じことを望んでいるわけではないんですが、ただ、マタニティクッキングがなくなったり、この中に栄養教室が入っているように、皆さん、多分どこの課も、いろんな情報を妊婦さんにお届けしたい。どれも大事な情報ですって言いたいと思うので、せっかくだったら、マタニティクッキングのなくなった予算で、こっちにつき込めばいいのにと思いながら見ていたので、こどもがまだおなかの中において、親も身動きができるうちにお勉強してもらおう、いろんなことを知ってもらおうというのをもうちょっと拡張するようなチャンスがあるとありがたいなと思いました。半日というのが、1回で済むのはいいんですけど、逆に言うとよくない点もあるので、小分けに、何回にするとか、そういうのも考えていただいてもいいのかなと思いました。

以上です。

○事務局 私、ここに来たのが7年前だったんですけど、そのときに両親学級が、その前の年まで2日あったらしいんですね。それを1日にしたのですけれども、それはどうしてですかといたら、やっぱり2日になっちゃうと、2回来なきゃいけないみたいな。そうすると、2回来ることが大変ということで、ほかの健康教室なんかもそうだったんですけども、今でも健康教室のほうは2回シリーズのもあるんですが、そここのところ、皆さんお仕事の都合だったり、そういうのもあって、どこもそういうふうにしたようです。

○北脇委員 いい面と悪い面と、ありますよね。ただ、妊婦の間というのは学ぶ気持ちが強いですよ。それをうまく利用するという考え方もいいんじゃないのかなと思ったので、お話だけで。いろいろ考えた上での半日の1回だと思うので、ただ、そういう意見も出たということだけで結構です。

○事務局 保健師さんのほうにもお伝えするようにしたいと思います。

○北脇委員 お願いします。

○山岸会長 ありがとうございます。

今、事務局のほうから7ページ、今回、主に子供関係の食育が多いんですけど、もしほかの委員の方から御意見や御質問等ございましたら、お時間もありますので、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○横山委員 このページじゃなくても大丈夫ですか。

すみません、一番最初のページに戻るんですけど、この表の、一番上の欄に「効果があったと思われる食育の視点」とあって丸がつけられているんですけど、これって、効果があったというのをどうやってはかったのかと思って、この取組の内容についての視点に丸がついているんだったら、何となく、そうかなと思うんですが、効果があったというのはどこかからの評価だったり、そういうものがあるのか

知りたいなと思いました。

あと、もう1個、この1ページ目の2つ目、食育月間の取組の小中学校全校での取組のところでは5番と7番に丸がついてなくて、何となく、調査を学務課の方が書いてくださっているんだとは思いますが、食品ロス軽減とか環境に配慮した食生活の啓発って、多分学校で、うちの子たちもそうなんですけど、いつもはそういうのがすごく身近にあって、給食月間・食育の日にこれをやらなくても、平日頃やっているのかなとか、気づいているのかなと思うのと、中学校では、家庭科の指導要領の中に、1日に必要な食品の種類と含量が分かることを家庭科では学習することになっているので、野菜350グラム摂取というのは、家庭科の時間には学習しているのを、例えば、食育の日のどこかで啓蒙してもらように学校と連携を取れば、ここも丸がつくのかなと。家庭科で学んだことを食育の日とか食育月間にもう一回振り返ることで、より身につくのかなと感じました。

あと、3つ目なんですけど、1から7の食育の視点の丸の数を数えてみると、どれに重い・軽いがつけられているということはないとは思いますが、多いものと少ないものがあるなというふうに見ていたし、この野菜を350グラムというのが結構気になるなというふうには、丸が少ないなと思って見ていて、今、ベジチェックという機械があって、カゴメさんの機械なんですけど、こういうところに手を何秒か置くと、1か月分の自分の体の中に入っている野菜、カロテノイドの量を測定して、あなたは1か月に350グラム取れてなくて、あと50グラム分ぐらい、手のひら1杯分食べたら野菜が適正な量取れますよみたいなチェックのできる機械も開発されているから、そういうのを啓蒙の、保健センターとかで行事があるときに、そういうのを置いて測定しても楽しいのかなというふうに感じました。

すみません、私、この後出ないといけなくて途中でいっぱい言っちゃってすみません。

○事務局 では、1番について。効果があったと思われるというのは、どちらかというとなら効果があると思われる視点みたいな形で、皆さん……。

○横山委員 効果を期待する視点とか。

○事務局 そういうふうにしたほうがよかったですね。その効果があるだろうと、その事業に対してどこと関係しているかみたいな形に、どちらかというとなってしまうので、あったかどうかという評価ってなかなかするのが難しいので。ただ、前はなかったんですけども、自己評価を入れるに当たって、せっかく指標があるのにそれが利用されないのはおかしいということで、一応この形になったんですけど、どちらかというとなら、効果が期待される食育の視点みたいな形が本当のところでは。

○横山委員 要は、この事業を企画するときに何を求めるかといったら、主務の担当課の方が思われることということが、今期待される効果というか、そういった観点になるという理解でよろしいんですかね。多分、この丸をつけるのは担当課の方が、これが期待されるんじゃないかなというので、「あった」

という、要は結果論としてアンケートを取ったとか、多分、そこってなかなか、全てではないような気もするので。

○事務局 そこまで行き届かなくて申し訳ないです。

○横山委員 いえいえ。

○事務局 この関係については、多分、食品ロスとかの話も、結構、食品ロス月間とかもあるから、多分、お話はされていると思うんですけども、どちらかという、やったことを目いっぱい書いてしまっている、それが全然ないということはないかなとは思いますが。

あとは、事業との関係というところまで、内容までいっていないので、やっていないことはないと思うんですけども、そういう視点も必要というか、もし書けるんだったらということだったら、向こうに伝えることは今後になると思うんですけども。

○松嶋副会長 すみません。

○山岸会長 お願いします。

○松嶋副会長 例えば、強弱をつけるのであれば、一番主眼になっているのは二重丸にしてというふうには、この観点、主体としての目的は二重丸で達成できているけど、ほかにもこういうことは関係ありますよというふうにしたほうが、ただやみくもに、丸、丸とついているよりは、その課で主眼になっていることが分かりやすいのかなと思っております。

○事務局 その課が一番推しているところ。

○松嶋副会長 そうですね。そうするとめり張りで、これにも関連しているけど、うちの課としてはこれが達成できているということが見た目には分かりやすいかな。

○事務局 二重丸にする……。

○山岸会長 もしその二重丸が、この①から⑦にあまり偏るようであれば、ない部分をどこの課が補っていくかというの、もしかすると見えてくるのかなと思いました。

○松嶋副会長 丸がつかないようなところに関しては、主眼にする取組が増えてもいいのかなと思います。

○事務局 ないことが多いところのほうが、そこは今後、市として力を入れていくようになるというふうということですかね。

○松嶋副会長 ありがとうございます。

○事務局 野菜350グラム……。

○山岸会長 今ぱっと見たところ、数、全部合計はしてないんですけど、7ページまでだと5が少ないのかな。ただ、後半まだありますので、後半も……。後半も少ないですね。多分、この1日350

撰取って、日本中が課題としているところなので、対応できればいいなと思いました。

あと、マタニティ、今、国を挙げて本当に子供を育てていこう、いろいろ予算もつけているところですが、今、マタニティですとか、子どもに対しての食育のような市からの提案もございましたが、何か、ほか、御意見等ございましたら、発言をお願いしたいと思います、いかがでしょうか。

では、今回は7ページ、ここまで一旦区切るということでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、次回、またこの続きを行いたいと思います。

そうしましたら、次は、学務課・健康課合同事業「親子でクッキング」についてです。事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 こちらは、毎年夏休みに行う学務課との合同業務です。平成29年度から、夏休みに小学生、その年によって対象学年を変えたりはしています。今年度は、対象年度3年生から6年生でしたが、集まったのは3・4年生のみでした。小学生と保護者に対し、小金井市立の小中学校の栄養士が食育の授業を行っております。本年度は7月30日火曜日に、「お弁当を作ろう」というタイトルで実施しました。親子9組・18名が出席されました。小金井で採れた野菜を使って調理体験も行いました。

最初に、栄養士のほうからお弁当の栄養バランスについての話があり、その後、お弁当のおかずを作って、一部、スタッフが作ったものもあるんですけども、持ってきた自分のお弁当箱に、栄養のバランスがよくなるように御飯とおかずを詰めていきます。

献立は、普通の白い御飯、枝豆ゆかり御飯、それからトウモロコシの入ったもろこし御飯、春雨サラダ、カレーもやし、かぶときゅうりのあっさり漬け、夏野菜のオープン焼き、ナスとピーマンのみそ炒め、サバの梅みそ焼き、タラのマヨネーズ焼き、菜の花蒸し……菜の花蒸しというのは変わりシュウマイで、シュウマイのお肉の表面にコーンがついているというものです。それから、ルバーブチキンしょうゆ、イカのカレー揚げです。この中から、御飯1種類、野菜3種類、肉と魚の料理から2種類選んで、お弁当箱に詰めます。デザートはヨーグルトのルバーブジャムのせです。

最後に、自分で詰めたお弁当を食べます。保護者の方からは、給食のメニューや野菜のメニューが多いことで大変喜ばれました。子供たちからは、いろいろな食べ物が食べられてよかった、いろいろな人がつくったものが食べられてよかった等の感想がありました。

今日、委員として出ている長谷川委員も参加されたので、すみません、私のほうの話の補足をお願いいたします。

○長谷川委員 私も参加し始めて数年たつんですけども、まずは、コロナが空けて自分たちでつくったものを自分たちで詰めて食べるという行為が、やっぱり子供にとってはすごく貴重な経験だなと思いました。先ほどの離乳食教室も、なかなかしんどい時期があったと思うんですけども、やっぱり、準

備する、作る、食べるまでを一貫して食育できる機会というのはとても貴重だと思いました。

なかなか野菜、ナスとかも出てきたので、子供の苦手な食材も入っていたんですけども、やっぱり、担当栄養士の説明もすごく興味深くて、彩りも大事だよ、彩りをそろえると栄養にもなるよという、視覚的な指標もすごく子供たちに落ちたみたいで、バランスよく摂取して、お弁当に詰められたかなと思います。

ただ、ちょっと1つ課題としてあるのが、すごく食べてほしいと思うサバが、やはりメニューとしては、お肉とかに負けちゃうところもあるんだけど、魚も食べるということが必要なんだと自分で選ぶことができる食育が我々の課題だねなんて、終わったときにも話していたんですけども、とにかく、子供は野菜を一生懸命食べてくれて、野菜を食べることが必要なんだ、自分にとって必要だし、おいしいんだということを体験してくれたことはとてもよかったかなと思っています。

以上でよろしいでしょうか。

○山岸会長 ありがとうございます。お野菜はいろんなメニューがあるんですけど、お魚はなかなか骨があったり、処理も大変なので、作る側もなかなかアレンジが利きづらいというところもあって。

○長谷川委員 でも、食べた子はすごくおいしいとなるので、お魚も食べてみるとおいしいんだと気づくんですけども、中学生なんかは手に取る機会がどんどん増えてくるので、段階的なものもあるのかなと思いました。

○山岸会長 ありがとうございます。ぜひ、学校給食で人気ある魚料理をまた教えていただければと思います。ありがとうございます。

ほか質問等、ございますでしょうか。大丈夫でしょうか。

ありがとうございました。

次は、小金井市食育ホームページ編集委員会についてです。雀部委員、よろしくお願いいたします。

○雀部委員 前回の会議の後から、レシピの方針ですとか栄養成分表の活用クイズの更新が幾つかあったのでお知らせいたします。

レシピについては、6月がルバーブの肉みそということで、ちょっと保存も効くような、6月が食育月間で、小金井、ルバーブをよく使うので、それに合わせてということで、ルバーブを使ったメニューになっています。写真のほうでは、お豆腐に肉みそを乗せてということで御紹介しています。

それから、7月はトマトのヨーグルトサラダということで、ヨーグルトを水切りして、ちょっと濃厚な感じに仕上げたものを乗せたサラダになっています。

8月はモロヘイヤを使ったポタージュで、こちらは、モロヘイヤが苦手な方でもお召し上がりいただくので、喜ばれたかなとは思いますが。この3つですね。夏野菜を使ったレシピで、最近特にそうなん

ですけれども、以前に比べると大分塩分を意識して、なるべく低めに意識したレシピにしようという共通目標みたいな形でなっているので、その辺は少し意識したようなレシピの塩分量になっています。

栄養成分表活用クイズのほうは、前回もお知らせしたんですけど、今まではカロリーの多い・少ないで、自分が太りたいかやせたいかによって何を選べばいいかというテーマでやってきたんですけど、7月からテーマが変わりまして、今度、減塩についてのクイズにしてみました。血圧に関わることなので、減塩を意識してもらいたいなということで、市販のものの中で一体何を選べば減塩につながるかというテーマでやっています。

例えば7月ですと、パンを取り上げて、食パンとクロワッサンとマフィンとロールパン、4つの中で、1食、1個当たり一番塩分が少ないのはどれでしょうというクイズになっています。ぜひ、皆さんも挑戦していただければいいかなと思っています。

8月のほうも、市販のものを4種類挙げて、こちらはスープがテーマで、コーンポタージュ、中華スープ、お吸い物、ワカメのみそ汁の中でどれが塩分が少ないでしょうというクイズになっています。

ホームページとしては、オンラインですとか、リアル開催とかで会議は毎月しているんですけど、前回もちょっとお話ししましたが、やはり課題としては、ホームページの内容の充実を図っているところなんですけれども、問題点がなかなか解消されないというジレンマを抱えていまして、前回もお話した「サイトが安全ではありません」という表示がホームページを開くと出てしまうということですか、あと、先にホームページの内容を見たいなと思って進んでいくと、「Kogane i - s t y l e をもっと見る」、「今すぐ講読して続きを読む」というような表示が勝手に出てしまうので、それはシステムの問題なんですけど、メールアドレスを入れるように誘導するような表示が出てしまうのは、市のホームページとしていかなものかなと。あまりにそれがひどいと信用を失ってしまうかなと私たちは心配しているところです。それは、私たちがシステムをどうのこうのという話ではないので、業者さんの対応を待っているところなんですけれども、その辺が解消されれば、安心して内容の充実も図っていけるかなと思っています。

ホームページとしては、以上になります。

○山岸会長 ありがとうございます。

今の件についていかがでしょうか。何か御意見等ございますでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、この後は次回についてなんですけど、その前に何か御意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

○松嶋副会長 松嶋です。農業委員と一緒にやっている、市内で野菜の販売をしているパリタリーさん

という方を中心に「やさいじん」というトレーディングカードを作っておりまして、多分、「やさいじん」と入れていただくとすぐ分かると思うんですが、今ちょうど8月31日の野菜の日までクラウドファンディングを行っています。

これは、市内の農家さんのカードであつたりお野菜のカードであつたり、それがトレーディングカードゲームになっており、今後、農家さんも増やしていき、お店屋さんも増やしていき、そしてその中に食育という視点も入れたいというふうに御相談も受けていて、お助けカードみたいな、まだ私もやってはいないんですけど、「食育の何とかさんが現れた」じゃないんですけど、そういうふうな形とか、あと「お店さんが現れた」とか、農家さん、種をまいて、それを育てるようなゲームだと思うんで、まだやってないんですが、クラウドファンディングもやっておりますし、今後、何か食育として御協力するようなこともあるかと思うので、情報提供として、今日は、お話しさせていただきたいと思ってきました。

見ていただくと、かわいいカードで、市内のイラストレーターさんが描いていて、多分、御存じの農家さんが登場していると思いますので、御覧ください。

よろしくをお願いします。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほかの委員の方から何かございますでしょうか。

○山田委員 情報提供、これ以降で大丈夫です。

○山岸会長 そうですか。次回の案内、終わってからでよろしいですか——お先で。山田委員、お願いします。

○山田委員 東京都多摩府中保健所の山田です。保健所の今後の、9月からの取組について情報提供させていただきます。

皆さん御存じかと思うんですけど、9月というのは食生活改善普及運動月間です。国を挙げて取り組んでいまして、国の今年度のテーマは「食事をおいしく、バランスよく」ということなんですけど、東京都の今年度のテーマを、「野菜をおいしく、バランスよく食べよう」をテーマに、野菜摂取量の増加やバランスよく食べることの推進など、都民の食生活改善を目指した普及啓発を行う予定になっております。多摩府中保健所では、保健所1階の情報コーナーでの展示とか、保健所のホームページで、「ちゃんとごはん」の情報を提供していく予定です。

また、違う課題なんですけど、今まで東京都の保健所で食環境の整備ということで、1食当たり120グラム以上の野菜を使用している飲食店や弁当業者などで、「野菜メニュー店」というふうな形で届出いただいたんですけど、それを今年度リニューアルしまして、10月より、「からだ気くばりメ

ニュー店」という名称で事業を展開する予定になっております。今年度から始めました「東京都健康推進プラン21(第三次)」について、都民の皆様の健康づくりのために適切な量と質の食事を取る人を増やすということを目指しておりまして、今までに実施した野菜メニューに加えて、主食、主菜、副菜を組み合わせた1食分のセットメニューである栄養バランスという項目と、減塩に配慮したメニューや工夫がある減塩サポートというのが今回追加されます。保健所では、「からだ気くばりメニュー店」を飲食店などや住民の皆様へ今後広く広報していく予定になっております。引き続き、御協力よろしくお願ひします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

藤澤委員、何か。先ほどおっしゃっていた……。

○藤澤委員 イベントの関係ですか。どっちがいいですか。

○事務局 商工のほうからの。

○藤澤委員 ちょっと要望なんですけど、今回の資料を見てまして、子供のアレルギーに対する取組が随分少ないなと思いました。コロナ前に、私なんかでもイベント事業を結構出展させていただきまして、いろんなものに対しての子どものアレルギー的なものがすごく多かったと。ただ、コロナになって、若干それが内側に入っちゃって、表に出ていないんじゃないかと思うんですが、そういうものに対して、これを見ていると資料が1か所か2か所ぐらいしかアレルギーに対して載ってなかったの、今後の取組として、どういうものかなということを考えていただきたいのと、食べることも大事なんですけど、近年の温暖化によって、食中毒、これがすごく多くなってまして、お弁当とか何かを作ることにしましても、今すごく食中毒が多発している状態なので、そういうものに対して、作るということも大事、食べるということが大事なことに對して、食中毒は起こさないようにどうやって対策をしていくかを子供たちにちゃんと教えたり指導するのも1つの大事な事かなと思うんですが、それは今後の要望です。

あとは、商工会としましても、今後、今年は市民まつりがないんですが、産業祭りとか、いろんなもので商工会としても協力させていただきたいと。あと、これから夏にかけて、いろんな商店街でいろいろお祭りがありますので、商工会のホームページを検索していただくと、夏祭りとか秋祭り、産業祭りとか、いろいろありますので、できればそういうのに参加していただきたいと思います。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。また、ホームページのほう、確認させていただきたいと思ひます。

それでは、お時間も過ぎましたので、事務局より次回についてお願いいたします。

○事務局 次回につきましては、11月下旬ぐらいから12月上旬の水曜日、午後2時からを予定しております。

また、今回の会議録案ができましたら、前回同様メールにてお送りいたしますので、御確認、訂正等をお願いいたします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回小金井市食育推進会議を終了したいと思います。

皆様、本日はお疲れさまでした。

— 了 —